

平成 29 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	尾道市立日比崎小学校		
学校長氏名	中谷 雪子	栄養教諭氏名	秋田 安耶
職員数	48名	児童・生徒数	590名

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

- ①給食の完食が難しい。（4月の残食率・・・1.6％）
- ②朝ごはんの摂取率が低い。（毎日朝ごはんを食べている児童・・・92％）
- ③排便率が低い。（ほぼ毎日排便のある児童・・・63％）

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

- ①給食の残食率を1％以下
- ②朝ごはんの摂取率を95％以上
- ③ほぼ毎日排便のある児童70％以上

3 食育の目標に対する具体的な取組

【取組1】（テーマ） めざせ！完食！！

①各教科での食に関する指導の充実

1年生生活科「がっこうとともだち」で給食の作っている様子を紹介したり、2年生学級活動「食べ物の好き嫌いをなくそう」でたまねぎの皮むきをしたりすることで給食に興味・関心を持ってもらえるよう指導した。

②もりもり週間の実施

毎月食育の日（19日）前後の1週間をクラス全員で完食しようという取組を行い、1週間を通して完食できたクラスには賞状を作成した。

③給食委員会による呼びかけ

全国学校給食週間に給食を完食するためのポイントを紹介し、当日の給食を完食したクラスにはメダルを作成した。

④給食指導

学期ごとに、栄養教諭や調理員でのクラス指導を実施した。

⑤家庭との連携

食育だより・ホームページを活用して給食の様子を紹介した。

【取組2】（テーマ） 朝ごはんをしっかり食べよう！

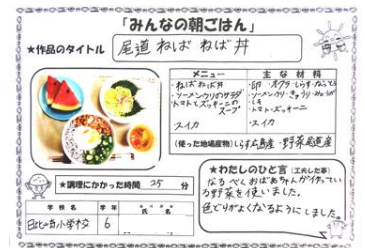
①ひびざき朝ごはん大賞の実施

夏休み前に6年生を対象とした学級活動「朝ごはんの大切さについて」を実施し、朝ごはんの大切さについて伝えた。その後夏休みに自分で栄養満点朝ごはんを考えさせ、ひびざき朝ごはん大賞（ごはん部門・パン部門）を校内で決定した。その後優秀作品を校内に掲示し紹介した。

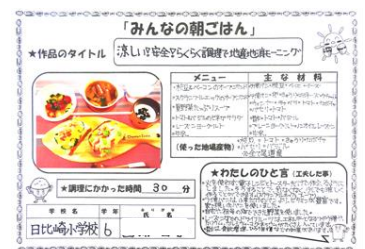
②家庭との連携

給食試食会での講話で朝ごはんの大切さを伝え、食育だよりで紹介した。

学級懇談時に本校の朝ごはん摂取状況や朝ごはんの大切さについての資料を配付し学級担任による説明をした。



ひびざき朝ごはん大賞(ごはん部門)



ひびざき朝ごはん大賞(パン部門)

【取組3】(テーマ) すっきり排便で毎日元気に過ごそう!

①学級活動での指導

4年生の学級活動「食事と健康について」では、排便のしくみを紹介し、毎日排便することの大切さを伝えた。その後、毎日排便するためのチャレンジ目標を決定させ実践への意欲をもたせた。



②家庭との連携

学級懇談時に本校の排便状況からの課題を伝えた。また、4年生の学級活動をする前と、チャレンジ目標を実施した後との比較を食育だよりで紹介し、チャレンジ目標の推奨をした。

4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

①資料の配付

市内統一配布資料や校内の食育だより等を作成し配布した。

②資料の掲示

校内にひろしま給食コーナーを作り資料を掲示した。



③放送資料

ひろしま給食実施日に放送委員会による放送を実施した。

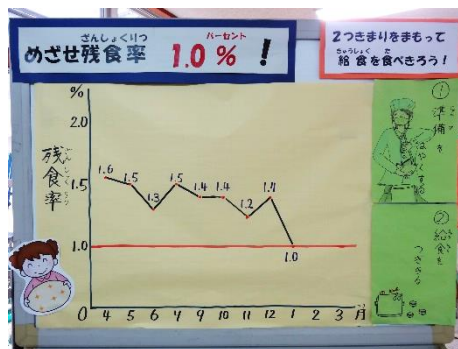
④授業での活用

5年生の総合「伝えよう!尾道自慢の食材」で、ひろしま給食の過去のレシピを合わせて紹介し、本校でのレシピ作成に生かした。

5 取組に対する成果と課題

【成果】

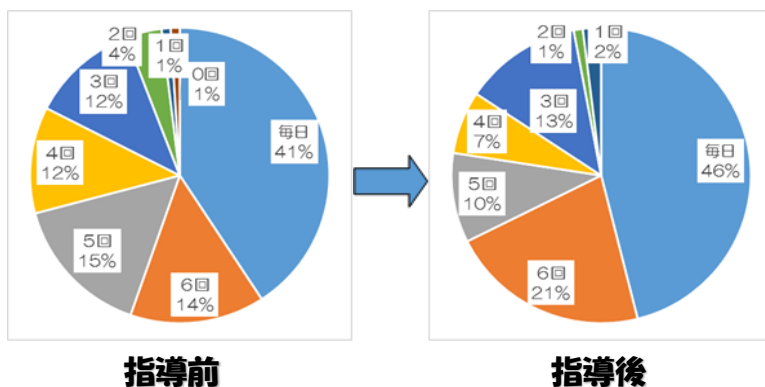
給食の残食率は4月当初1.6%だったものが1月には1%に減ってきている。全国学校給食週間で取り組んだ日には18クラス中16クラスが完食することができたので、今後も児童の意欲を持たせる取組を工夫していきたい。



排便指導では指導前よりも排便回数が増えた児童が多くいた。一過性の指導に終わることなく、今後継続した指導を家庭と連携していきたい。

【課題】

朝ごはんの摂取率がまだ低い。



6 今後の取組に向けた改善方策について

①生活アンケートの結果を踏まえた個別指導を関係職員・家庭と連携して行うことで、朝ごはん摂取率や排便率の改善を図る。

②既存の取組を生かしながら、児童が意欲的に取り組めるような仕掛けを工夫していく。